

第 84 回 JIA アーバントリップ見学会の報告

実施日 : 2017 年 9 月 21 日 (木) 晴

テーマ : 「街並みを継承するかたち・新しい木質建築のかたち」

～伝統的建造物群保存の街並みを継承する建築手法と CLT・重ね合板工法の可能性を探る～

見学先 1・「真壁伝承館」 設計・監理 渡辺真理+木下庸子 設計組織 ADH

竣工 2011 年

解説者 渡辺真理

2・建築研究所「つくばCLT実験棟」

設計・監理 芝浦工大青島啓太研究室 青島啓太

竣工 2016 年

解説者 青島啓太

3:「司化成工業つくばテクニカルセンター」

設計・監理 吉松秀樹+(有)アーキプロ 前田道雄

竣工 2016 年

解説者 前田道雄

見学後記

■第 84 回アーバントリップはつくば方面の「伝統的建造物群保存の街並みを継承する建築手法として・真壁伝承館」と「CLT工法として・つくば実験棟」、「重ね合板工法として・司化成工業つくばテクニカルセンター」を伝統的街並み建築と新しい木構造という2つの切り口で取り上げた。

■「真壁伝承館」

晴天の中、午前中に設計監理を担当された渡辺真理さんにプロポーザルにより選らばれる大きな理由となった住民との数多くのワークショップを取り上げながら、建物配置計画や規模の検討で真壁に建つ伝統建築群のボリュームサーベイや、特徴ある鋼板パネル構造等の解説して頂いた。見学では伝統建築群の外壁に合わせた色、この敷地の地層図、真壁城跡地となる敷地部分やランダムに配置された真壁原産の石等、真壁ならではの地元の話も面白く真壁街並み見学案内と地酒の解説・紹介までして頂き楽しい見学となった。



「真壁伝承館」



「真壁伝承館」





「真壁街並み」



■ 「つくばCLT実験棟」

昼食後につくば建築研究所内で研究員の方から建築研究所の説明を受けた後、「つくばCLT実験棟」設計監理を担当された青島さんからこの建物は新しい木造工法としてCLT工法研究のデータを取る為に建てられているが、通常とは違う 90mm、150mm 角サイズの集成材を使用しており、その耐久性や構造上の問題点を調べていると解説して頂いた。見学では大サイズ断面集成材の持つ大スパンの有利さ、しかし音響問題での不利とその解決法や構造上の理由からハイサイドライトを取り入れている等興味深い話を聞いた。製作工場ピースごとに制作をして現場で組み立てを行っているとのこと。実験棟周りでは他の実験棟も建てられており、いかにも研究所という雰囲気醸し出されていた。



「つくばCLT実験棟」



「つくばCLT実験棟」

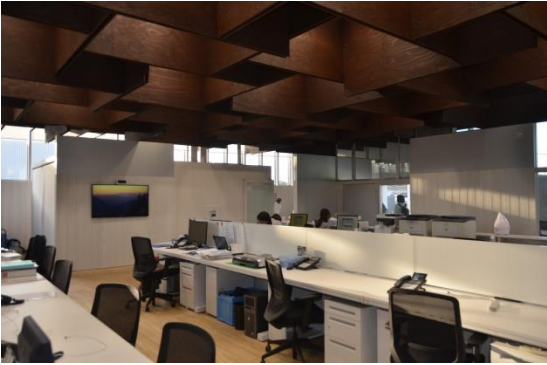


■ 「司化成工業つくばテクニカルセンター」

最後の見学先となるこの建物もつくば方面に建つ建物で「つくばCLT実験棟」と同じ木造建築で事務所である。設計監理を担当した前田さんからの解説で構造用合板 5 枚重ねの相持ち構造梁を格子型にして屋根を支えているとのこと。そして高さ 4m のワンルーム無柱空間を確保している。こちらは 5 枚重ねの合板パネルを現場で組み立てたそうだ。新しい工法の木造建築に読み取れる建物だが確認申請が 4 号建物として特例を受けていることも少し不思議に思えた。床を地盤面から 1.2m 持ち上げ床下に設備関係を纏めて配置しており、その内部空間は快適そのものに見えた。又、オーナー側から「気持ち良く大変に満足しています」と話が出ていた。



「司化成工業つくばテクニカルセンター」



「司化成工業つくばテクニカルセンター」



記：第 84 回アーバントリップ担当コーディネーター 近藤 昇（近藤総合計画事務所）